



YVC-200

ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン

ユーザーガイド



目次

1. はじめに	1
1.1. 本マニュアルについて	1
1.2. 特長	1
1.3. 付属品	1
2. 各部の名称と機能	2
2.1. 上面	2
2.2. 側面	3
2.3. 底面	5
3. 準備する	6
3.1. 充電する	6
3.2. 設置する	6
3.3. ヘッドセット/ヘッドホンを接続する	7
3.4. スマートフォンとBluetooth接続する	8
3.5. コンピューターとUSB接続する	10
4. 使用する	17
4.1. 電源を入れる/切る	17
4.2. スピーカー音量を調整する	17
4.3. マイクをミュートする/ミュート解除する	17
4.4. スピーカーをミュートする/ミュート解除する	18
4.5. スマートフォンの着信を受ける/通話を終了する	18
5. その他の機能	19
5.1. 充電電池の残量を確認する	19
5.2. 工場出荷時設定に戻す	19
5.3. リセットする	19
5.4. ファームウェアをアップデートする	19
6. 困ったときは	20
6.1. お問い合わせになる前に	20
6.2. Bluetooth接続に問題がある	20
6.3. 通話音質に問題がある	20
6.4. その他の問題	21

1. はじめに






ヤマハYVC-200をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は、1人～3人での使用に最適な、少人数用のスピーカーフォンです。

お使いになる前に、付属の安全上のご注意をお読みになり、正しく安全にお使いください。

1.1. 本マニュアルについて

- ・ 本マニュアルは、接続方法や操作方法など、本製品を活用するための情報を記載しています。
- ・ 本マニュアルに記載されている記号とその内容は以下のとおりです。

記号	内容
 警告	死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
 注意	製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。
 重要	製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。
 メモ	操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- ・ 本マニュアルに記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本マニュアルの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- ・ 本マニュアルに記載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ 本マニュアルは発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

1.2. 特長

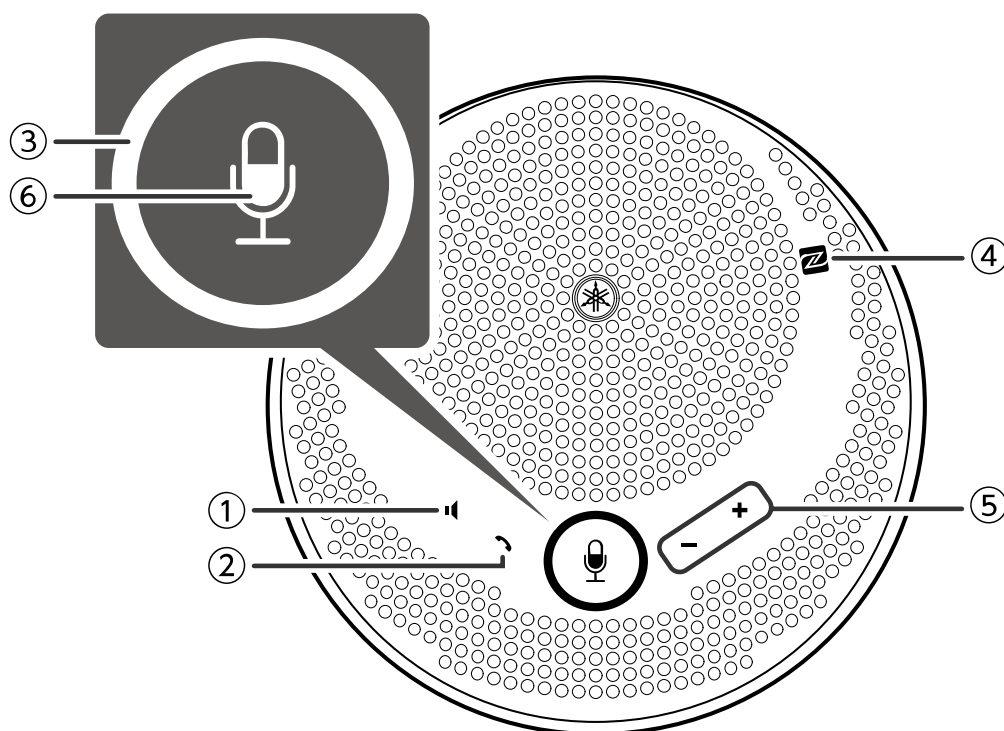
- ・ 自動で最適な音質を実現する音声信号処理技術
スムーズな双方向会話を実現する「適応型エコーキャンセラー」
プロジェクターなどの雑音を除去する「ノイズリダクション」
マイクに近い人と遠い人の音量を調整する「オートゲインコントロール」
- ・ 360°全方位からの音声を收音するマイクと、最大で88dBの音声を出力可能なスピーカー
- ・ Windows/macOSを搭載したコンピューターおよびiOS/Androidを搭載したスマートフォンとの接続
- ・ USB、Bluetooth、NFCによる“Plug and Play”な接続性
- ・ 最長10時間の連続使用が可能な内蔵充電電池

1.3. 付属品

- ・ USBケーブル × 1
- ・ 安全上のご注意 × 1
- ・ クイックスタートガイド（保証書つき） × 1
- ・ キャリングポーチ × 1

2. 各部の名称と機能

2.1. 上面



① スピーカーミュートボタン (🔇)

スピーカーの出力を一時的に停止（ミュート）します。もう一度押すとミュートは解除されます。

② コールボタン (☎)

スマートフォンとBluetooth接続しているときに、このボタンで着信を受けたり通話を終了したりできます。

③ マイクミュートボタン (🔇)

マイクの機能を一時的に停止（ミュート）します。もう一度押すとミュートは解除されます。

④ N-Mark (ℹ)







NFC対応スマートフォンをここに近づくと本製品とBluetoothのペアリング/接続、切断ができます。

⑤ 音量+/-ボタン (+/-)

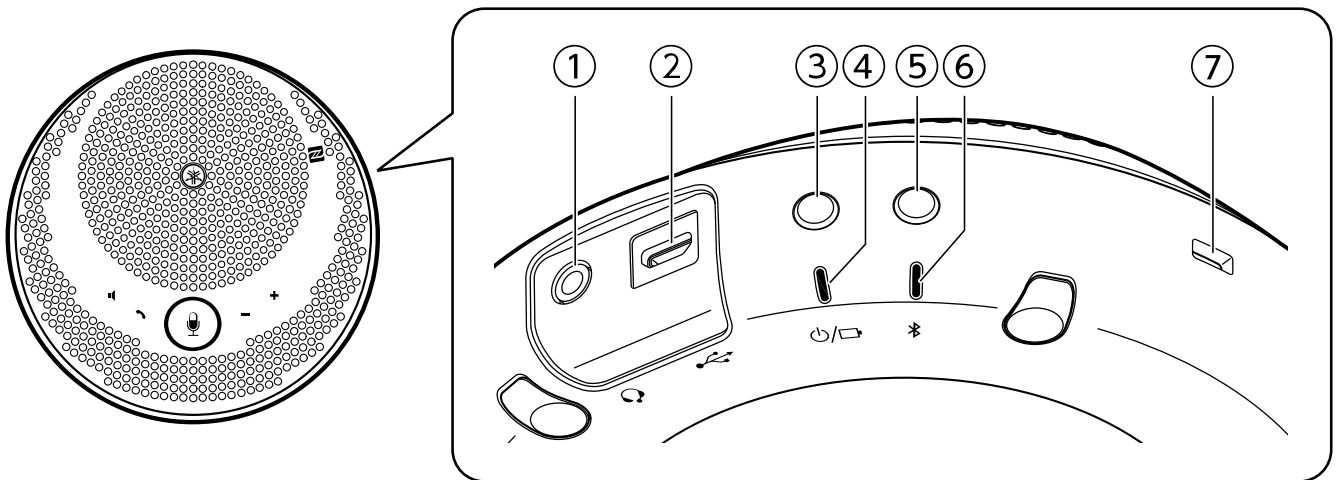
スピーカーの音量を調整します。

⑥ マイクインジケータ ()

マイクミュートやスピーカーミュートの設定状態などを表示します。

表示	状態
 マイク点灯 (緑) / リング点灯 (緑)	通常時
 マイクゆっくり点滅 (赤) / リング点灯 (赤)	マイクミュート時
 マイク点灯 (緑) / リング消灯	スピーカーミュート時
 マイクゆっくり点滅 (赤) / リング消灯	マイクおよびスピーカーのミュート時
 高速点滅 (緑)	スマートフォン着信中 (通常時)
 高速点滅 (赤)	スマートフォン着信中 (マイクミュート時)

2.2. 側面



① ヘッドセット端子 ()

市販のヘッドセット/ヘッドホンを接続します。

② USB端子 ()




付属のUSBケーブルでコンピューターまたは市販のUSB電源アダプターを接続します。

③ 電源ボタン ()

2秒以上押し続けると電源が入ります。もう一度2秒以上押し続けると電源が切れます。

④ バッテリーインジケーター (電池)

内蔵充電電池の残量が少なくなると点滅します。

表示	状態
 消灯	充電完了または充電電池の残量が多い
 点灯	充電中
 点滅	充電電池の残量が少ない




また電源ボタンを押すことで内蔵充電電池の残量を表示することもできます。(→[充電電池の残量を確認する](#))

⑤ Bluetoothボタン (✖)

スマートフォンとBluetoothでペアリングや接続、切断をする際に押します。

⑥ Bluetoothインジケーター (✖)

Bluetooth接続の状態を表示します。

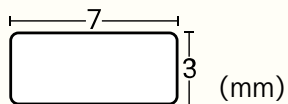
表示	状態
 消灯	Bluetooth未接続
 点灯	Bluetooth接続完了
 点滅	Bluetoothペアリング待機

⑦ セキュリティースロット

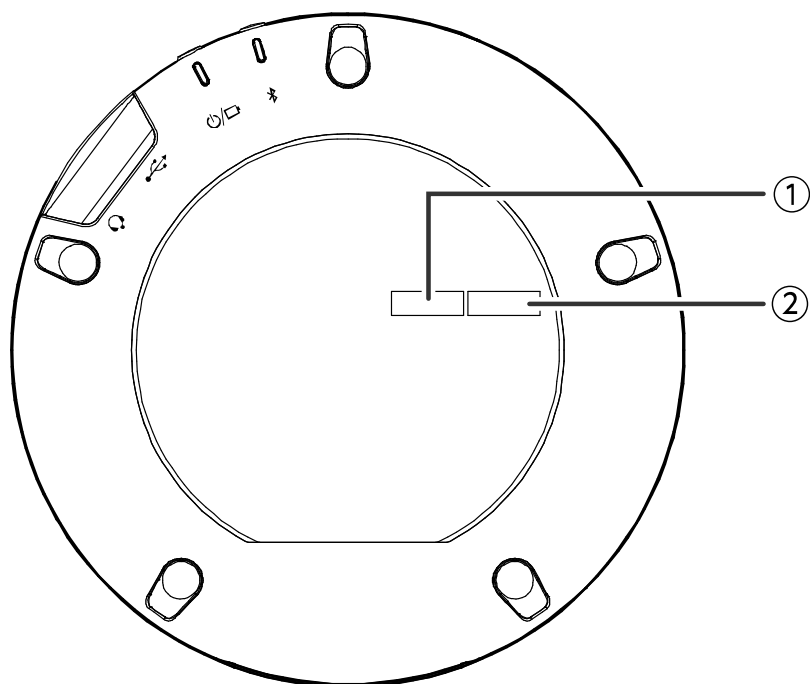
市販のセキュリティーワイヤーを接続します。

 メモ

- ・セキュリティースロットのサイズに対応可能なセキュリティーワイヤーをご利用ください。



2.3. 底面



① 製造番号

製品を管理/区分するための製造番号が記載されています。

② 製造年月

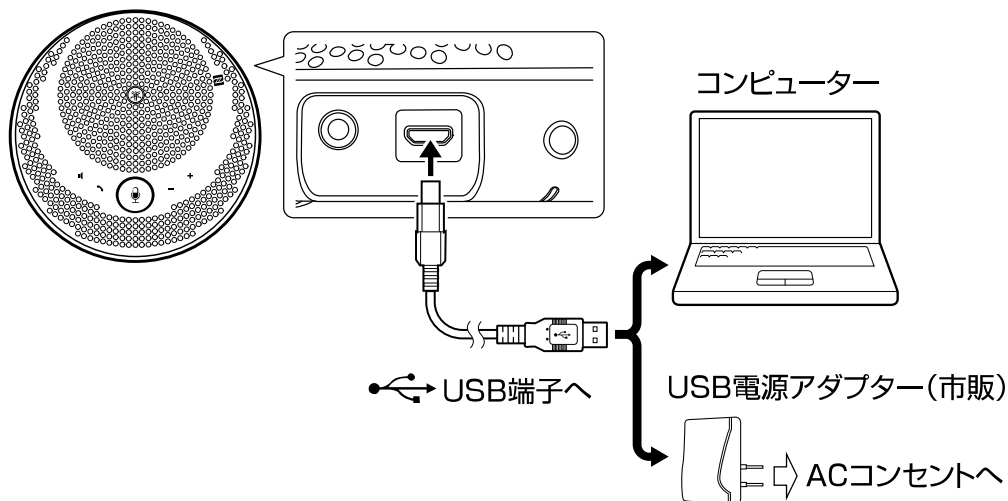
本製品の製造年月が記載されています。

3. 準備する

3.1. 充電する

付属のUSBケーブルを用いて電源を供給すると充電が始まります。

電源の供給は、本製品とコンピューターを接続する方法と、本製品と市販のUSB電源アダプターを接続する方法があります。



警告

- ・ お使いになるUSB電源アダプターの安全上のご注意をお読みください。
- ・ USB規格に適合した給電ができるUSB電源アダプターをお使いください。

出力電圧	4.8V～5.2V
出力電流	0.5A以上

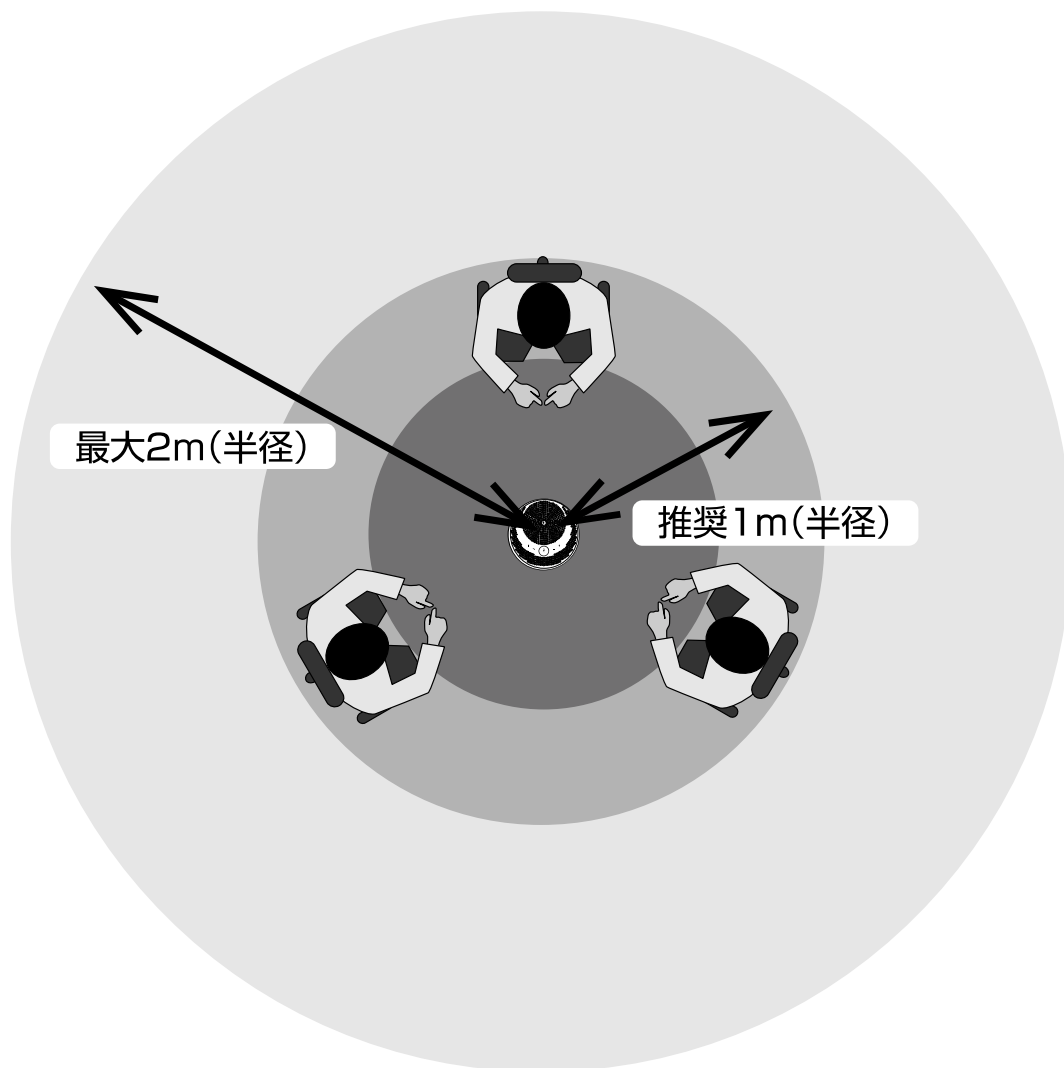


メモ

- ・ 十分に充電するには4時間～6時間が必要です。

3.2. 設置する

音声を明瞭に収録するために、話者の近くに設置します。

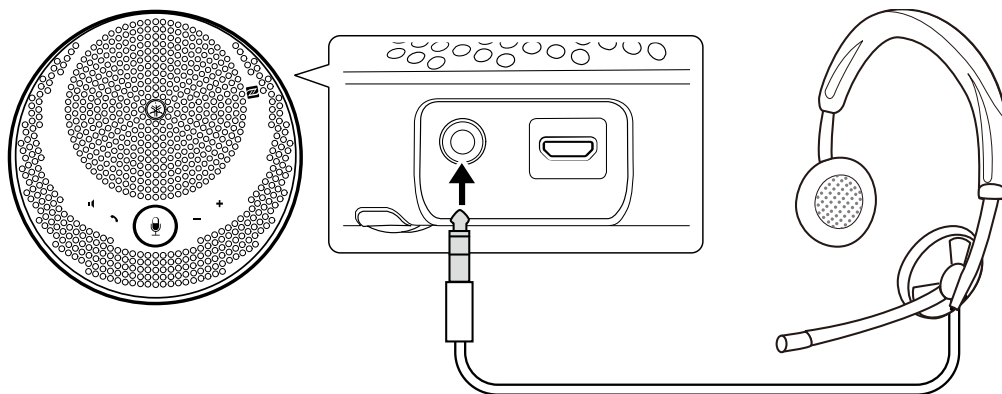


メモ

- ・ 雑音源（コンピューターの放熱ファン、プロジェクターなど）の近くには設置しないでください。通話先で音質が低下する場合があります。

3.3. ヘッドセット/ヘッドホンを接続する

本製品のヘッドセット端子に市販のミニプラグ搭載のヘッドセット/ヘッドホンを接続すると、ヘッドセット/ヘッドホンで通話できます。



 メモ

- ・ ヘッドセットを接続しているときは、本製品のマイクとスピーカーが自動的に無効になります。
- ・ ヘッドホンに接続しているときは、本製品のマイクは有効ですが、スピーカーは自動的に無効になります。

 注意

- ・ 大きな音量で長時間ヘッドセット/ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

3.4. スマートフォンとBluetooth接続する

iOSまたはAndroidを搭載したスマートフォンと本製品をBluetoothでペアリング/接続します。接続後に音声が入り正しく出力されるかどうかを確認してください。

 メモ


- ・ iOSおよびAndroidの対応バージョンは下記のWebサイトに掲載しています。
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>
- ・ 本製品と同時にBluetooth接続できるスマートフォンは1台だけです。

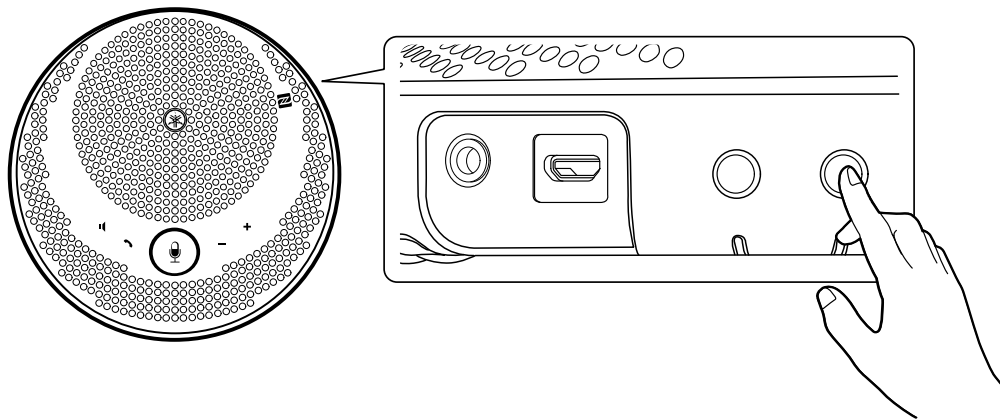
3.4.1. ペアリングする

ペアリングとは、接続するBluetooth機器同士がお互いのペアリング情報を登録する操作です。相手のスマートフォンと初めてBluetooth接続するときやペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。

 メモ

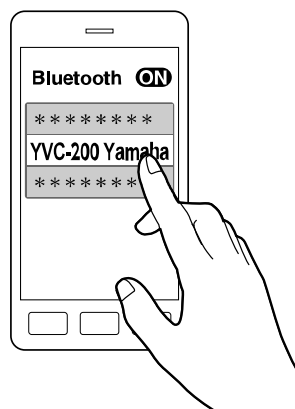
- ・ 本製品は最大8台のスマートフォンとペアリングできます。9台目のスマートフォンとのペアリングが成功すると、Bluetooth接続した日時が最も古いスマートフォンのペアリング情報が削除されます。
- ・ 本製品が別のスマートフォンとBluetooth接続している場合は、そのスマートフォンとの接続を切断してからペアリングしてください。

1. Bluetoothボタン () を2秒以上押し続けます。Bluetoothインジケーターが点滅し、ペアリング待機状態になります。




2. スマートフォンとペアリングします。

接続するスマートフォンのBluetoothを有効にして「YVC-200 Yamaha」とペアリングします。パスワードの入力を求められた場合は、数字で「0000」を入力します。




メモ

- ペアリングが完了していることをスマートフォンで確認し、成功していない場合はペアリングをやり直してください。
- 通常はペアリングと同時に接続が行われます。
- ペアリング待機状態で、Bluetoothボタン（)を押すか、ペアリングが完了しないまま90秒が経過すると、ペアリング待機状態は終了します。

3.4.2. 接続する

ペアリング済みのスマートフォンとBluetooth接続します。


- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 本製品のBluetoothボタン（)を押す。
ペアリング済みのスマートフォンが複数ある場合は、最後に本製品と接続したスマートフォンに接続されます。
 - スマートフォンでBluetooth接続操作を行う。
- 通知音が鳴り、Bluetoothインジケーターが点灯したら完了です。

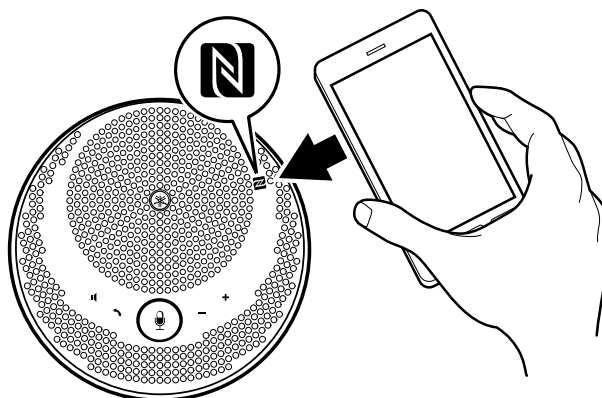
3.4.3. NFCでペアリング/接続する

Androidを搭載したNFC対応スマートフォンであれば、NFC機能を使うことでBluetoothのペアリングと接続が同時にできます。

 メモ

- Androidの対応バージョンは下記のWebサイトに掲載しています。
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>
- あらかじめスマートフォンのNFC機能をオンにしておいてください。

1. N-Mark () にスマートフォンをかざします。





2. 通知音が鳴り、Bluetoothインジケーターが点灯したら完了です。

 メモ

- スマートフォンによっては動作しない、または接続可能な距離が異なる場合があります。
- スマートフォンにケースなどを付けている場合は、ケースを外してください。
- ペアリングや接続がうまくいかないときは、スマートフォンをかざす位置を変えてください。

3.4.4. 切断する

Bluetooth接続済みのスマートフォンから切断します。

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - a. Bluetoothボタン () を押す。
 - b. スマートフォンでBluetooth切断操作をする。
 - c. スマートフォンをN-Mark () にかざす (Androidを搭載したNFC対応スマートフォンの場合)。
2. 通知音が鳴り、Bluetoothインジケーターが消灯したら完了です。

 メモ

- 本製品の電源を切った場合も、Bluetoothは切断されます。

3.5. コンピューターとUSB接続する

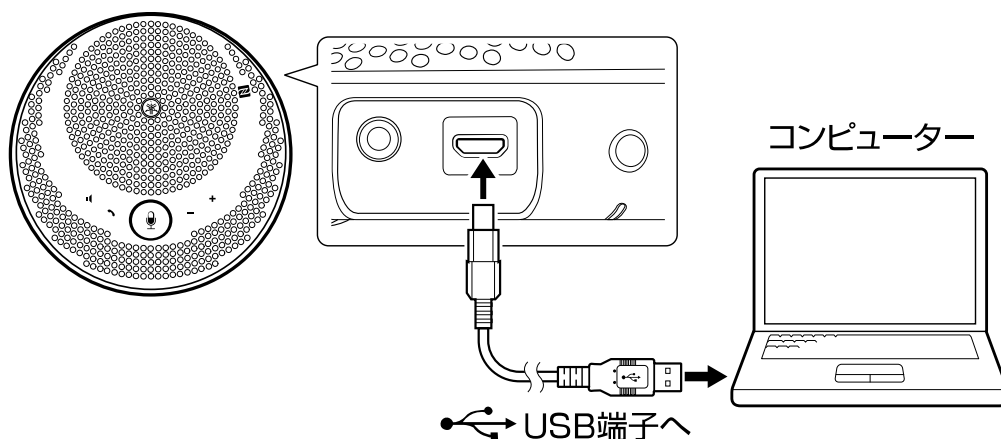
WindowsまたはmacOSを搭載したコンピューターを、付属のUSBケーブルで接続します。接続後に音声が正しく出力されるかどうかを確認してください。

メモ

- WindowsおよびmacOSの対応バージョンは下記のWebサイトに掲載しています。
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>

3.5.1. 接続する

付属のUSBケーブルで本製品とコンピューターを接続します。コンピューターから本製品に電源が供給され、本製品が自動的に起動します。



メモ

- 本製品はコンピューターから標準のUSBオーディオデバイスとして認識されるため、USBドライバーを別途インストールする必要はありません。

3.5.2. 正しく接続されているか確認する

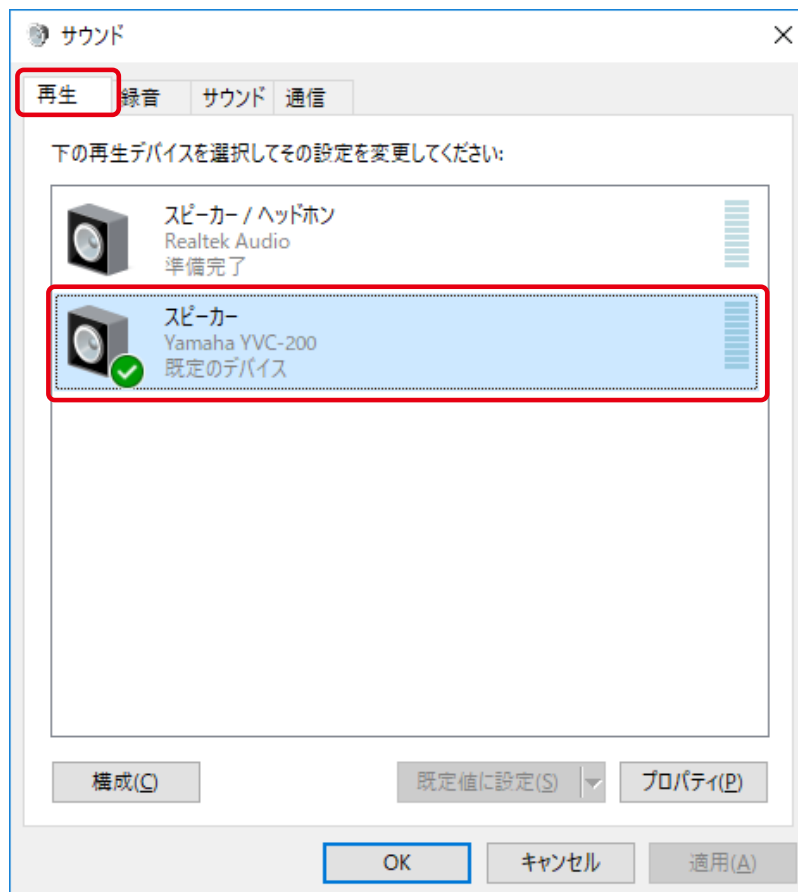
接続が完了したら、コンピューターが本製品を正しく認識しているかを、以下の手順で確認します。

メモ

- 設定画面の項目などは使用するコンピューターにより異なります。

Windowsの場合

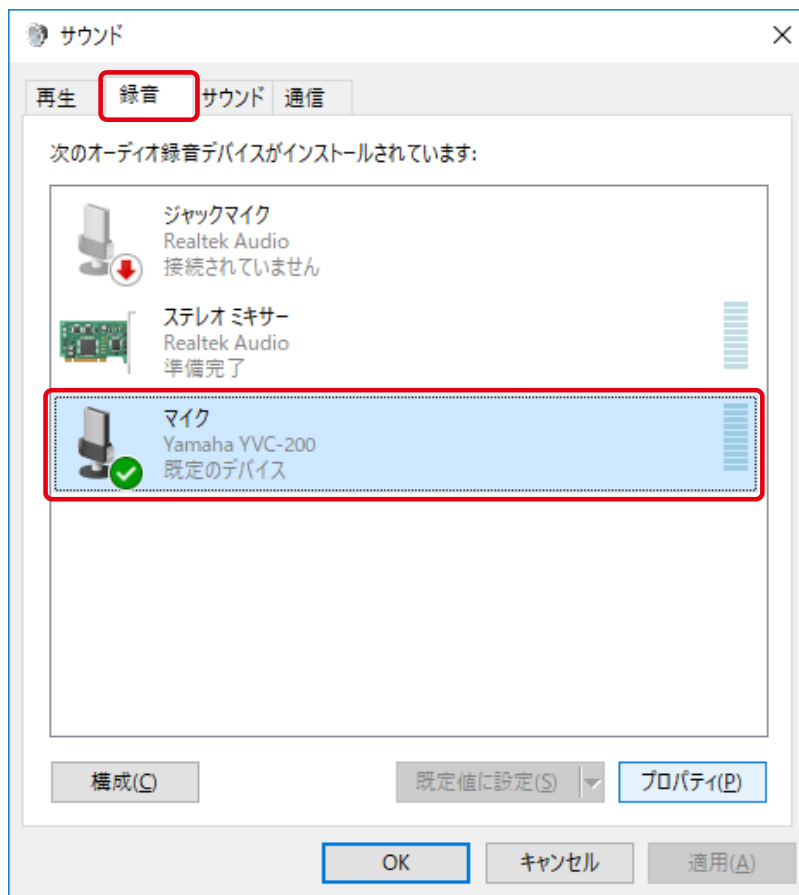
- 画面右下のスピーカーアイコンを右クリックし、「サウンド」をクリックします。
「サウンド」画面が表示されます。
- 「再生」タブをクリックし、「Yamaha YVC-200」が既定のデバイスに設定されていることを確認します。
既定のデバイスに設定されていない場合は、「Yamaha YVC-200」をクリックし、「既定値に設定」をクリックします。



メモ

- 通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-200」が既定のデバイスに設定されます。


3. 「録音」タブをクリックし、「Yamaha YVC-200」が既定のデバイスに設定されていることを確認します。
既定のデバイスに設定されていない場合は、「Yamaha YVC-200」をクリックし、「既定値に設定」をクリックします。



メモ

- 通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-200」が既定のデバイスに設定されます。

macOSの場合

1. 画面左上の  をクリックして、「システム環境設定」－「サウンド」の順にクリックします。「サウンド」画面が表示されます。
2. 「出力」タブをクリックし、「サウンドを出力する装置を選択」欄で、「Yamaha YVC-200」が選択されていることを確認します。選択されていない場合は「Yamaha YVC-200」をクリックします。



メモ

- 通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-200」が選択されます。

3. 「入力」タブをクリックし、「サウンドを入力する装置を選択」欄で、「Yamaha YVC-200」が選択されていることを確認します。
選択されていない場合は「Yamaha YVC-200」をクリックします。



メモ

- 通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-200」が選択されます。

3.5.3. マイク感度を調整する

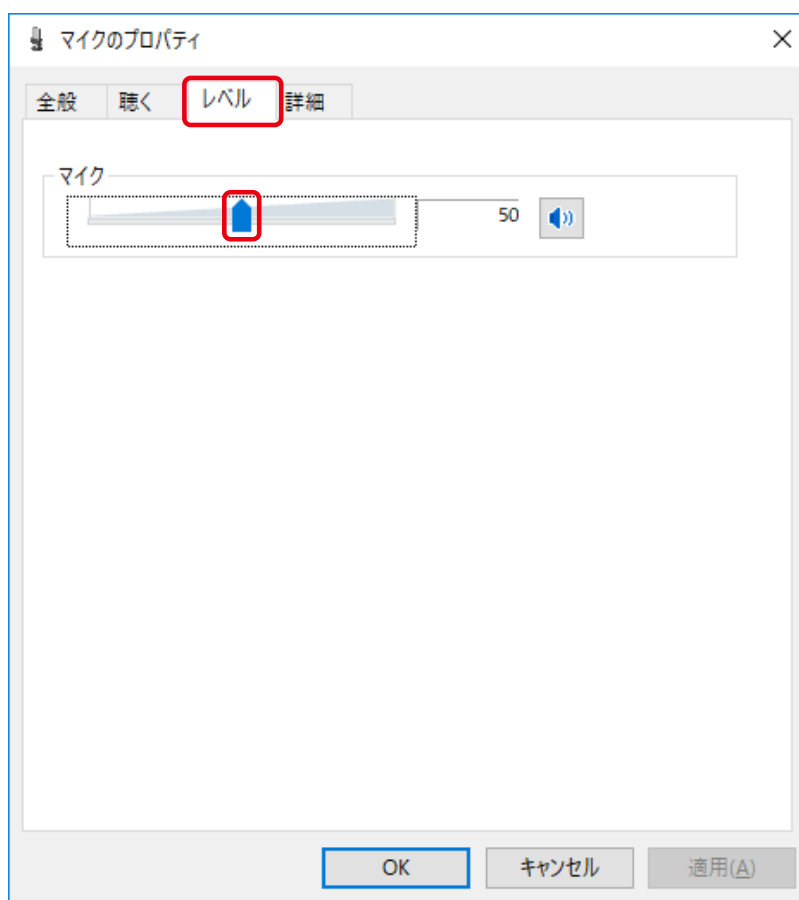
使用環境によっては、通話先で音が割れたり小さすぎたりすることがあります。その場合はマイク感度（入力音量）を調整してください。

 メモ

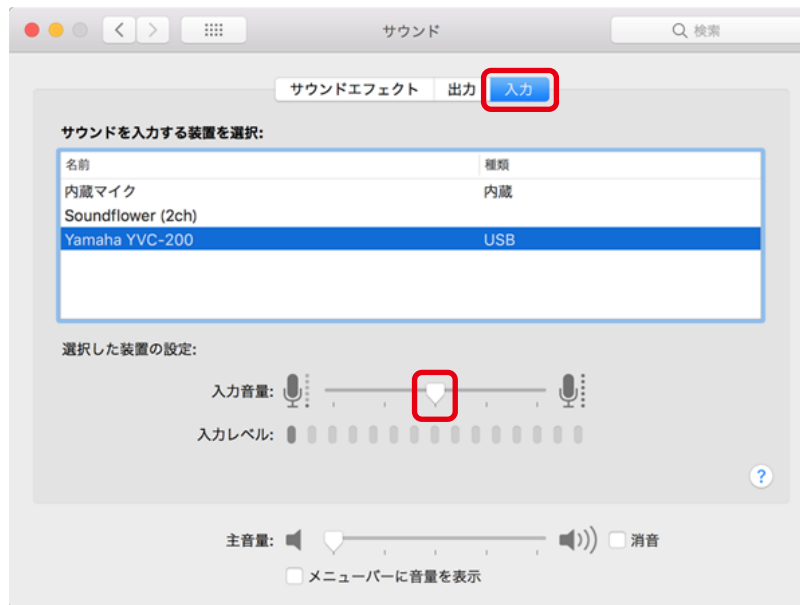
- ・ 設定画面の項目などは使用するコンピューターにより異なります。

Windowsの場合

1. 画面右下のスピーカーアイコンを右クリックし、「サウンド」をクリックします。
「サウンド」画面が表示されます。
2. 「録音」タブをクリックし、「Yamaha YVC-200」 – 「プロパティ」の順にクリックします。
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。
3. 「レベル」タブをクリックし、「マイク」欄でマイク感度を調整します。



**macOSの場合**

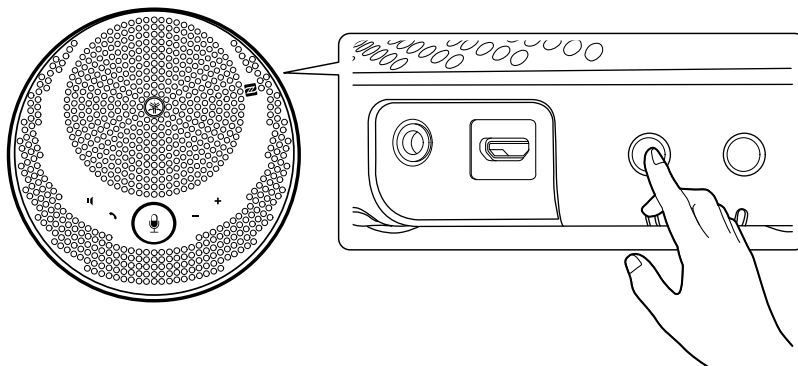
1. 画面左上の Apple logo をクリックして、「システム環境設定」 – 「サウンド」の順にクリックします。
「サウンド」画面が表示されます。
2. 「入力」タブをクリックし、「入力音量」欄でマイク感度を調整します。



4. 使用する

4.1. 電源を入れる/切る



電源ボタン（/）を2秒以上押し続けると、電源が入ります。もう一度、2秒以上押し続けると、電源が切れます。



メモ

- ・ 充電していない状態で、3分間何も操作しないと自動的に電源が切れます（自動電源オフ機能）。

4.2. スピーカー音量を調整する

スピーカー音量は音量+/-ボタン（-）を押して調整します。0.5秒以上押し続けると連続して音量が変化します。


メモ

- ・ スピーカー音量は音が割れないように調整してください。通話先でエコーが発生する場合があります。
- ・ コンピューターをUSBケーブルで接続している場合は、コンピューター側のスピーカー音量設定を変更すると、その値に従って本製品のスピーカー音量も変わります。


4.3. マイクをミュートする/ミュート解除する

マイクの機能を一時的に停止（ミュート）することができます。

4.3.1. マイクをミュートする

マイクミュートボタン（）を押します。
マイクインジケーターが赤色に変わり、マイクがミュートされます。


4.3.2. マイクミュートを解除する

マイクミュート中に、マイクミュートボタン（）を押します。
マイクインジケーターが緑色に変わり、マイクミュートが解除されます。


4.4. スピーカーをミュートする/ミュート解除する

スピーカーの出力を一時的に停止（ミュート）することができます。


4.4.1. スピーカーをミュートする

スピーカーミュートボタン（)を押します。
マイクインジケータのリング部分が消灯し、スピーカーがミュートされます。

4.4.2. スピーカーミュートを解除する

スピーカーミュート中に、スピーカーミュートボタン（)を押します。
マイクインジケータのリング部分が点灯し、スピーカーミュートが解除されます。


メモ

- ・スピーカーミュート中に音量+/-ボタン（)を押した場合も、スピーカーミュートは解除されません。
- ・コンピューターをUSBケーブルで接続している場合は、コンピューター側でスピーカーをミュートすると、本製品のスピーカーもミュートされます。

4.5. スマートフォンの着信を受ける/通話を終了する

スマートフォンをBluetoothで接続しているときに、本製品でスマートフォンの着信を受けたり通話を終了したりすることができます。


4.5.1. 着信を受ける

Bluetooth接続されたスマートフォンに着信があると、マイクインジケータが高速点滅します。このときコールボタン（)を押すと、本製品のマイクとスピーカーを使って通話ができます。

メモ

- ・スマートフォンによっては、着信を受けるとスマートフォン側のマイクとスピーカーが有効となる場合があります。その場合はスマートフォンのオーディオソース設定でYVC-200を選択して、本製品のマイクとスピーカーを有効にしてください。



4.5.2. 通話を終了する




通話中にコールボタン（)を押すことで、通話を終了できます。

5. その他の機能

5.1. 充電電池の残量を確認する

内蔵充電電池の残量を確認できます。

1. 起動中に電源ボタン（/)を押します。
充電電池の残量に応じて、バッテリーインジケーターが数回点滅します。



インジケーター表示	点滅回数	充電電池の残量
 × 1	1回	約0%～40%
 × 2	2回	約40%～80%
 × 3	3回	約80%～100%

メモ

- ・ 充電電池の残量が少なくなった場合は、バッテリーインジケーターが常時点滅します。



5.2. 工場出荷時設定に戻す

設定を工場出荷時状態に戻します。Bluetoothのペアリング情報も消去されます。

1. スピーカーミュートボタン（)と音量+ボタン（)を同時に5秒以上押し続けます。
通知音が鳴りマイクインジケーターが消灯したらボタンから指を離します。
2. 約10秒後にマイクインジケーターが再度点灯したら完了です。

5.3. リセットする

本製品を強制的に再起動します。

1. 電源ボタン（)とBluetoothボタン（)を同時に7.5秒以上押し続けます。
マイクインジケーターが消灯したらボタンから指を離します。
2. マイクインジケーターが再度点灯したら完了です。

5.4. ファームウェアをアップデートする

弊社では継続的に製品の機能を改善しております。

下記のWebサイトから本製品のファームウェアをダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます。

<https://sound-solution.yamaha.com/download/>

6. 困ったときは

6.1. お問い合わせになる前に

本書の内容をご覧になり、問題が解決できるかどうかご確認ください。それでも、問題が解決しない場合は、サポート窓口までご相談ください。

<https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>

6.2. Bluetooth接続に問題がある

症状	原因	対策
スマートフォンとBluetoothでペアリングできない	ペアリングしたいスマートフォンに、別の本機器とのペアリング情報がある。	別の本機器のペアリング情報をスマートフォンから削除してから、ペアリングしてください。 (→ ペアリングする)
スマートフォンとBluetoothで接続できない	スマートフォンとBluetoothでペアリングされていない。	ペアリングしてください。 (→ ペアリングする)
	別のスマートフォンがBluetoothで接続されている（Bluetoothインジケータが点灯している）。	別のスマートフォンとの接続を切断してから、接続してください。 (→ 切断する 、 接続する)

6.3. 通話音質に問題がある

症状	原因	対策
音声がかえらない/ 小さい	スピーカーミュートがはたらいている。	スピーカーのミュートを解除してください。 (→ スピーカーミュートを解除する)
	スピーカー音量が小さい。	スピーカー音量を上げてください。 (→ スピーカー音量を調整する)
	USB接続したコンピューターの通話アプリで、本機器以外のスピーカーが選択されている。	通話アプリのスピーカーデバイス設定で本機器を選択してください。
	Bluetooth接続したスマートフォンのオーディオソース設定で、本機器が選択されていない。	オーディオソース設定で本機器を選択してください。 (→ ペアリングする)
	通話先のマイクミュートがはたらいている。	通話先のマイクミュートを解除してください。
	通話先のマイク感度が小さい。	通話先のマイク感度を上げてください。

症状	原因	対策
通話先で音声が聞こえない/小さい	マイクミュートがはたらいている。	マイクミュートを解除してください。 (→ マイクミュートを解除する)
	USB接続したコンピューターのマイク感が小さい。	マイク感度を上げてください。 (→ マイク感度を調整する)
	USB接続したコンピューターの通話アプリで、本機器以外のマイクが選択されている。	通話アプリのマイクデバイス設定で本機器を選択してください。
	通話先のスピーカーミュートがはたらいている。	通話先のスピーカーミュートを解除してください。
	通話先のスピーカー音量が小さい。	通話先のスピーカー音量を上げてください。
音が割れる/大きい	スピーカー音量が大きい。	スピーカー音量を下げてください。 (→ スピーカー音量を調整する)
	通話先のマイク感が大きい。	通話先のマイク感度を下げてください。
通話先で音が割れる/大きい	USB接続したコンピューターのマイク感が大きい。	マイク感度を下げてください。 (→ マイク感度を調整する)
	通話先のスピーカー音量が大きい。	通話先のスピーカー音量を下げてください。
エコーやハウリングが聞こえる	通話先の機器構成や使用環境に問題がある。	通話先の機器構成や使用環境を見直してください。
通話先でエコーやハウリングが聞こえる	USB接続したコンピューターが、本製品を正しく認識していない。	コンピューターの設定を確認してください。 (→ コンピューターとUSB接続する)
	USB接続したコンピューターの通話アプリで、本機器以外のスピーカーとマイクが選択されている。	通話アプリのスピーカーデバイス設定とマイクデバイス設定で本機器を選択してください。
雑音が見える	通話先の機器構成や使用環境に問題がある。	通話先の機器構成や使用環境を見直してください。
通話先で雑音が見える	近くに雑音を発生する機器がある。	雑音源からできるだけ離してください。

6.4. その他の問題

症状	原因	対策
使用中に電源が切れる	自動電源オフ機能がはたらいた。	再度電源を入れてください。 (→ 電源を入れる/切る)
	充電電池の残量が少なくなった。	充電してください。 (→ 充電する)
充電電池の持ちが悪い	充電電池が劣化している。	お買い上げの販売店に、充電電池の交換を依頼してください。
起動時にマイクインジケーターが赤点滅する	ソフトウェアまたはハードウェアに異常が発生した。	お買い上げの販売店に、修理を依頼してください。
バッテリーインジケーターが点滅して起動しない	長期間使用しなかったため、充電に時間がかかっている。	起動が完了するまで（約10分間）、充電を続けてください。

Manual Development Group
© 2018 Yamaha Corporation
2020年2月 発行
YJ-C0